

清新の氣

学校だより
No. 4

大津市立栗津中学校
平成29年7月11日発行
全校生徒数：512名

やりがい

—やってきた甲斐（かい）があった

川辺 勉

陸上部の安達さんは「陸上の魅力は、結果が出たときに頑張ったよかったと思えるところです。よい結果を出すために、毎日の練習は手を抜かずに行っています。日々の練習を辛く感じるときもあるけれど・・・」と述べている（「広報おおつ」）。

わたしたちは、「厳しい練習をしてきた甲斐（かい）があった」「勉強してきた甲斐があった」など、「〇〇してきた甲斐があった」ということがある。この「甲斐」という言葉の意味は、「動詞の連用形や動作性の名詞などに付いて、その行為をした効果・効験の意を表す」と説明されている。効果とは「ある働きかけによって現れる、望ましい結果。ききめ」であり、効験とは「ききめ、効果」という意味なので、ここでいう「甲斐」とは「望ましい結果」というのがふさわしい。つまり、厳しい練習をしてきて「望ましい結果」が得られたときに「厳しい練習をしてきた甲斐があった」と表現している。

わたしたちが、厳しい練習を積み重ね、「もうダメだ。やめたい」と思いながらも耐え抜いて、「望ましい結果」が得られたとき、「やってきた甲斐があった」というのではないだろうか。そうすると、「望ましい結果」をもたらした元には「取り組んだ」行為があったからであり、「取り組んだ」行為を「よかった」と感じているのである。すなわち、「取り組んだ」という行為が「よかった」ということは、その行為に「価値があった」と認めているのである。「価値があった」とは「よい評価」をしていることである。だれが「よい評価」をしているのかといえば「自分」と「他者」である。換言すれば自己評価と他者評価である。自分が取り組んできたことに対する自己評価なので、自分のしてきた行為が「よかったんだ」という評価をしている。自分で自分をほめていいといつてよい。さらに他者評価で自分の力を認めてくれていると実感する。

「望ましい結果」を得た、あるいは「やってきたよかった」ということは、「望ましい」、「よい」と考えている方向性、取り組んでいく目標（めあて）があったことを意味している。「優勝をめざす」「試合に勝つ」「テストで70点取る」などのように、何らかの目標（めあて）を公表の有無にかかわらず自分の中でつくりだしている。表現を変えると「優勝したい」「試合に勝ちたい」「テ

ストで70点取りたい」ということになるろう。そうすると、ここには「〇〇したい」という「意志」が働いている。やさしくいえば「欲」である。人間には言葉で表現しなくても内心で「欲」というものをもつことができる。「願望」ということもある。「願い」や「夢」と言い換えてもよい。

取り組みのすべてのスタートというか、その源泉には、「欲」「願望」「夢」などが存在している。逆に言えば「欲」（願望、夢）があるから、その実現に向かって取り組むことができ、望ましい結果を得たときだけでなく、たとえダメだったとしても取り組んだ努力に誇りを感じたとき、「取り組んできた甲斐があった」と思うのではないだろうか。夏季総体やコンクールなど、目標にしてきた大会がある。練習してきた自分の力を信じ、チームの力を信じて挑んでください。

頑張れ 栗中生！

いざ 夏の戦い（大津市夏季総体等）へ

3年生にとっては、いよいよ最後の大会である夏季大会を迎えました。まずは、大津市夏季総体に向け、体調・コンディションを整えて試合に臨んでほしいと思います。

頑張れ 栗中生！

全力を尽くし、悔いのない試合を期待しています。

<大津市夏季総体会場一覧>

| | |
|--------|----------------------|
| 水泳 | 21：皇子が丘プール |
| 野球 | 22：草津グリーンスタジアム |
| サッカー | 21・22：皇子山中 |
| バレー | 21：栗津中 22：瀬田公園体育館 |
| バスケット | 21：皇子山中 22：県立体育館 |
| バドミントン | 21・22：皇子が丘体育館 |
| 卓球 | 21・22：日吉中 |
| ソフトテニス | 21・22：大石緑地公園コート |
| 柔道 | 21：県立武道館 |
| 剣道（個人） | 21：県立武道館 |

他に、下記の大会、コンクールが行われます。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 陸上競技部 | 全日本通信陸上競技大会 21・22日 会場：布引競技場 |
| 吹奏楽部 | 県吹奏楽コンクール地区予選 26日 会場：大津市民会館 |

琵琶湖清掃大作戦 6/9 ～let's clean きれいにし隊～

6月は、月・金曜日にあいさつ運動を行ってききましたが、6月9日（金）放課後には、生徒会執行部 Let's clean きれいにし隊が中心になって琵琶湖清掃大作戦を行いました。本校からは、琵琶湖を毎日眺めることができ、日々親しんできた琵琶湖をきれいにしようとの呼びかけに367人もの生徒が参加しました。おかげで多くのごみが集まり、湖岸はすっかりきれいになりました。

参加した生徒の皆さん、準備・運営等がんばってくれた生徒会執行部の皆さん、暑い中ご苦労さまでした。



避難訓練 6/22

6月22日（木）は期末テスト1日目でしたが、4校時に大津市消防局の方の指導のもと避難訓練を実施しました。今回は第2理科室で火災が発生したとの想定で、全校生徒がグラウンドへ避難しました。訓練とはいえ、真剣に取り組めたことは良かったと思います。また、スムーズな避難行動に対して、消防署の方からもおほめの言葉をいただきました。

粟津中学校の歴史の中には、昭和36年に校舎が全焼するほどの大規模火災に見舞われることがありました。（その時に再建された校舎が現在の東・南校舎です。）また、火災だけではなく、北九州をおそった水害などの災害はいつやってくるかもしれません。今回の訓練を機会に防災意識をしっかりと持ちたいものです。



職場体験学習（2年生） ～「はたらくでい2017」～ 6/29～7/5

6月29日から7月5日の5日間、2年生は普段の学校での学習とは違い、約60の事業所等に分かれて職場体験学習を2人～8人のグループで行いました。職場体験学習までにワーキング講座など事前に学習して臨みましたが、職場体験初日には戸惑いと緊張感でぎこちない様子が見られました。ところが3日目ぐらいになると、手慣れた様子で仕事をこなす姿が見られました。今回の経験から「働くこと」についてしっかりと考えることができたと思います。ぜひこの経験を学校生活にも活かしてください。



＜職場体験：生徒感想＞

・はたらくということは、忙しくて大変だけど、一生懸命がんばってできたときに達成感ややりがいを感じることができることが分かりました。はじめは分からないことばかりで仕事を覚えるのが大変でしたが、だんだんとできてきて、楽しくはたらくことができました。また事業所の方や担当の方と、いろいろな話ができることが良かったと思います。（Y）

・1日目は緊張もあり、作業に失敗することもあったが、2日目、3日目とだんだん慣れていくようになった。しかし、慣れると雑になってしまうことがある。そこで気を付けながら、1つ1つていねいに作業を続けた。はじめは職場の人とはしゃべることはなかったが、最終日にしゃべる機会ができ、より多くの人と会話ができた。仕事は作業だけでなく、人付き合いも大切だと感じた。（T）

学校閉校日のお知らせ

本年も下記の期間を学校閉校日としますので、お知らせします。

- ・閉校期間：8月12日（土）～16日（水）
- ・緊急時の連絡先：

大津市教育委員会教職員室 538-2837

